

事業所名

YMCAおひさま

## 児童発達支援・支援プログラム

作成日

令和6年

12月

28日

法人（事業所）理念		YMCAおひさまは、イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します。		
支援方針		5名前後の小集団での活動を通して適切かつ丁寧な働きかけを行い、日常生活や集団生活がよりよく過ごせるように一人ひとりのところに寄り添い発達支援を行います。また、家庭や関係機関との連携を通して、子どもたちが安心して過ごせる支援体制をつくります。		
営業時間		9時 00分 から 17時 00分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	衣類の着脱や排泄、手洗い、食具の使い方、荷物の支度、管理など、個々に必要な身辺自立を目指して支援を行います。 絵カードやスケジュール表、タイムタイマーなどを使って指示や予定をわかりやすく伝えます。 衝立や目隠しを用意し、作業に集中しやすいように環境調整を行います。		
	運動・感覚	感覚運動遊びやリズム遊び、手遊びなどを通して、身体の四肢を使った全身運動と共に、手先を使った微細運動にも取り組みます。 着席活動では、座る姿勢を維持しやすい机や椅子を用意し、必要に応じてクッションや足台を使用します。		
	認知・行動	数量、形、大きさ、重さ、色の習得、物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知の向上をはかり、生活の中で行動の手がかりとして活用できるよう支援を行います。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる環境等への適応の難しさに対して、見通しを持ち、折り合いをつけられる様に、また必要に応じて休憩の選択を習得できるように機会を捉えて支援します。		
	言語 コミュニケーション	遊びの中で、相手に受け止められ、応答してもらえる経験を通じてコミュニケーションの楽しさを感じられるよう大切に関わります。 要求や要望を指差しや身振り、言葉等の適切な方法で表現できるよう支援します。 就学前には楽しみながら聞き取る練習を行い「聞く力」を高められるように課題の設定を工夫します。また、絵本やプリント学習を通して「読み書き」の課題に取り組む時間を設けます。		
	人間関係 社会性	身近な人との愛着を基盤に、人の動きを模倣したり、遊びを展開したりする中で社会性や対人関係を培っていけるよう支援します。 交代、順番、ルールやマナー、又思い通りにいかない時に自分の気持ちを落ち着ける方法を知るなど、他者と気持ちよく過ごすための行動をとれることを目指していきます。		
家族支援		親子療育、クラスごとの活動報告の中でお子さんの様子を観察していただいたり、発達相談を通して、保護者がお子さんの発達の状況や困りごと、安心できる方法、また得意や強みについて一緒に考え、理解を深められるよう支援します。	移行支援	必要に応じて就園先のお子さんの様子を見学したり、就園先の先生とお子さんの様子や支援方針について情報を共有したりします。また就学予定の小学校にお子さんの情報を伝える為の支援を行います。
地域支援・地域連携		就園や就学といったライフステージに応じた切れ目のない支援と共に、福祉・保健医療・教育など関係機関との連携を行い、誰もが住みやすい街づくりを目指します。	職員の質の向上	障害平等研修、虐待防止・身体拘束等防止研修、BCP（災害、感染症）研修、関西YMCA内の合同研修、障がいへの理解や新しい支援方法を学ぶための研修等に参加しています。
主な行事等		こどもの日・七夕・クリスマスなど季節の工作、水遊び、感触遊び、公園遊び、ワイワイまつり、避難訓練		

事業所名

YMCAおひさま

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日

令和6年

12月

28日

法人（事業所）理念		YMCAおひさまは、イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します。		
支援方針		5名前後の小集団での活動を通して適切かつ丁寧な働きかけを行い、日常生活や集団生活がよりよく過ごせるように一人ひとりのところに寄り添い発達支援を行います。また、家庭や関係機関との連携を通して、子どもたちが安心して過ごせる支援体制をつくります。		
営業時間		9時 00分 から 17時 00分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	荷物の支度や管理、道具の準備や片付けなど、個々に必要な身辺自立を目指して支援を行います。スケジュール表、タイムタイマー、写真などを使って指示や予定をわかりやすく伝えます。公共施設や公共交通機関の利用、調理など日常生活に必要な活動を経験する機会を設けます。		
	運動・感覚	子どもたちが活動参加の意欲を維持できるように、静と動を組み合わせたメリハリのあるプログラム構成になるよう工夫します。クラス始めの「5分間パワーアップ」の時間に、身体をほぐす簡単な運動等を取り入れ、子どもたち自身が心と身体を整えて気持ちよくスタートできるよう切り替えの為の時間を設けています。		
	認知・行動	子どもたちが見通しを持ち安心して活動ができるように、スケジュールや手順書を使って予定を伝えたり、タイムタイマーなどを使って時間を伝えたりするなど、分かりやすく伝えるための工夫をします。毎クラスごとに「今日の目標」を明確にし、取り組みやすい「振り返りシート」を準備します。安心できる環境の中で、楽しいプログラムを通して子ども自身の自己受容、自己理解、自信に繋がることを願って肯定的な関わりを意識します。		
	言語 コミュニケーション	挨拶する、友だちの名前を呼び話しかける、援助を求める、相手の話を遮らずに聞く、自分の意見を伝える、友だちの意見を聞くなど場面に合わせたより良いコミュニケーションができることを目指し、機会を捉えて支援します。「おひさま会議」としてプログラムの内容を子どもたちで決める話し合いの機会を設けます。文字起こしや吹き出しカードなどによる視覚的なコミュニケーション手段も活用し、個々に合った方法で意思表示ができるよう支援します。		
	人間関係 社会性	小集団で活動する中で仲間意識を育み、友だちを遊びに誘う、ルールを理解して守る、友だちと協力する、失敗や負けを受け入れる、思い通りにいかない時に自分の気持ちを落ち着ける方法を知るといった社会生活や人間関係を円滑にするために必要なスキルを学びます。また、係活動などの役割に取り組んだり、社会のルールや場面に応じたマナーを学んだりする機会を設けます。		
家族支援		活動報告の中でのお子さんの様子の観察や発達相談などを通して、保護者がお子さんの発達の状況や困りごと、安心できる方法、また得意や強みについて一緒に考え、理解を深められるよう支援します。	移行支援	必要に応じて就学先の先生とお子さんの様子や支援方針について情報を共有します。また就学予定の中学校にお子さんの情報を伝える為の支援を行います。
地域支援・地域連携		就園や就学といったライフステージに応じた切れ目のない支援と共に、福祉・保健医療・教育など関係機関との連携を行い、誰もが住みやすい街づくりを目指します。	職員の質の向上	障害平等研修、虐待防止・身体拘束等防止研修、BCP（災害、感染症）研修、関西YMCA内の合同研修、障がいへの理解や新しい支援方法を学ぶための研修等に参加しています。
主な行事等		遠足、クリスマス会、クッキング、地域交流、ワイワイまつり、避難訓練		